

1泊。

3月19日(水)堀台長の案内で奈良見物、先づ若草山の鹿から春日神社、東大寺、正倉院(堀台長のはからいで特に入構して外部からその特異な建造物を見せて貰う)を経て、奈良地方気象台を見学して昼食。気象台では奈良地方の特殊な地勢と、降水の分布の説明。観測施設等に変大興味を示した。昼食後、唐招提寺、薬師寺を廻り、日本の仏像芸術の一端にふれ、青木台長の紹介状により、薬師寺住職橋本凝胤にお目にかかる。僅か10分間の会見であったが、日本の偉大な僧侶の1人に会えた事を「これが偉大な宗教家に会えた2回目である」といって、大変喜ばれる。

奈良から、近鉄奈良線特急で京都に向う。私鉄特急の

ロマンスカーでの「おしぼり」の接待と、車内の乗り心持良さに満足される。京都から新幹線超特急「ひかり」で帰京。列車内のビッフェで簡単な夕食とだったが、時間が時間だけに、何度のぞいて見ても一杯の客で、仕方なく夕食をあきらめ東京着。

この旅行中話の中から印象に残った話題は次の二つ。

1. 日本のコーヒーと食事のうまいという話。食事度に云われるので、お世辞だけではなさそうである。

2. 独逸の大学教授の停年は68才で、一般の役人は63才。教授は停年後も在職中と同一の俸給が支給されるので、68才まではやめたくてもやめさせて呉れないとこぼしておられた。成程人力の不足が進むところなるかと、今更ながら国情の差、文化の進展の差を感じる。

第15期第8回常任理事会議事録

日時 昭和44年4月28日 15.00~18.00

場所 気象庁予報部会議室

出席者 大田、竹内、朝倉、有住、岸保、大井、神山、小平、松本、各常任理事。

列席者 須田理事。

報告

庶務 4月18日、日本学術会議会長に、当学会では政府関係方面へ、「気象業務および研究の整備拡充に関する要望書」を提出したので学術会議でもよろしく配慮してほしいと依頼した。

集誌 二重投稿の件については、アメリカ気象学会から措置状況を通知してくれることになっているがまだ連絡がない、しかしこのままにしておくわけにもいかなないので集誌にこのようなことがあったことを載せたい、また天気にも載せたい。

学術会議 4月23日~25日第52回総会のあらましの説

明があった。

議題

議決事項

1. 総会の準備について

(1) 43年度事業経過報告

(2) 44年度事業計画

(3) 43年度決算書

(4) 44年度予算案

以上につき一部修正して承認された。

2. 天気の広告取材費について

広告料収入の20%とすることに承認された。

3. 天気投稿規定の改定について

承認された。

4. 外国文献集編集委員会について

委員会を設けることとする。

承認事項神子省吾外21名の入会を承認する。